

令和3年度 進路だより

わくわくワーク 第2号

令和3年9月13日
富山県立しらとり支援学校
進路支援部

本校では、子供たちが自分らしく社会参加するとともに、将来の社会生活を自立して送ることができるよう、一人一人に応じた進路支援に取り組んでいます。子供たちには、将来の進路先を自分自身で選択できるようになってほしいと願っており、そのためには、日頃から「選ぶ、選んだことをやり遂げる」という体験を積み上げていくこと、実際に体験をしてみる事が大切だと考えています。昨年度、進路支援部では、「障害福祉サービス事業所ガイドブック冊子版(76事業所掲載)・タブレット端末版(11事業所掲載)」の作成、「障害福祉サービス事業所合同説明会(43事業所参加)」を実施し、各事業所の情報や事業所担当者との繋がりがより持てるようにしてきたところです。

新型コロナウイルス感染症拡大防止に取り組みながらの生活は依然として継続していますが、子供たちの進路選択は中でも日々進めなくてはなりません。不安や様々な心配の中での取組となり難しいことも出てくるかと思いますが、一人一人にあった進路先を見つけ、その子らしさが発揮できるよう、進路に係る様々な情報を収集して一緒に考えていきたいと思っています。2学期もよろしくお願いいたします。

(教頭 山下裕市)

「高等部3年進路学習会」(7月26日(月)開催)

富山市福祉保健部障害福祉課から2名の講師をお迎えし、高等部3年生の保護者を対象にした進路学習会を行いました。

学習会では、「障害福祉サービスについて」「卒業後利用できるサービスについて」「障害福祉サービスを受けるまで」「障害基礎年金について」という内容で、各障害福祉サービスの説明や必要な手続きなどについて分かりやすく教えていただきました。

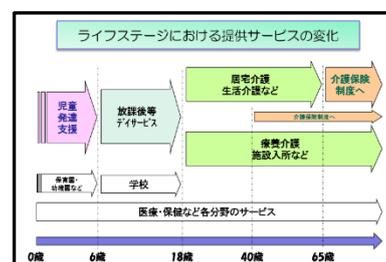
当日は21名の保護者の参加があり、質疑応答では、次のような質問に回答をいただきました。

Q ショートステイについて、若い人でも利用しやすいところがありますか。また、緊急時はどこに連絡をしたらよいですか。

A ショートステイの受け入れができる事業所は、富山市障害福祉課で作成している障害福祉のしおりに掲載されており、「障害児」の記載がある事業所で受け入れている。利用については事業所との相性等もあることから、利用する前にその事業所を経験しておくことも必要である。
困ったときや緊急時は、相談支援事業所に相談することになる。

Q 行動援護と移動支援の利用状況について教えてください。

A 行動援護については、富山市内にサービスを提供している事業所が少なく、すぐには利用できない状況である。移動支援は比較的事業所が多くあり、本人の状態によっては、移動支援を申請した方がヘルパーは見つかりやすい。行動障害が激しい場合は、短期入所等、いろいろな対応を考えていくことになるため、相談支援事業所の専門員と連携をとっておくことが必要である。



第1回高等部就業体験（7月5日～14日）

就業体験は生徒の将来の進路を考える上で非常に大切な学習活動です。一人一人の自立と社会参加に向け、ステップアップできた体験となりました。その様子を報告します。

1年生 校内就業体験（園芸班の取組）

＜内容＞収穫した野菜の袋詰め、販売

＜作業の様子＞

収穫したきゅうりやにんじん等の袋詰め作業を行いました。

1つの袋に入れる野菜の本数や状態を確認しながら、取り組みました。また、袋詰めした野菜にシールや値札を貼って、職員室へ販売に行きました。



2年生 社会福祉法人恵風会 多機能事業所このみ

＜内容＞部品並べ ウォーキング

＜体験の様子＞

10×6のトレイに部品の向きを揃えて並べる作業に取り組みました。緊張しながらも支援員さんの話をよく聞いて、一つずつ丁寧に部品を扱って並べました。

午後はウォーキングやレクリエーションをして過ごしました。



3年生 障害者就労継続支援B型事業所こころみ

＜内容＞バリ取り作業、金属ブラシ作業、野菜の出荷準備

＜体験の様子＞

バリ取り作業では、ブラシを使って金属とプラスチック部品のバリを取りました。天候が悪く畑での作業ができませんでしたが、室内で収穫した野菜の汚れを拭き取る作業をしました。

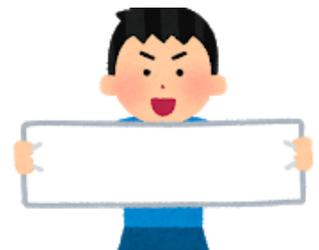


3年生 多機能型きらり夢工房

＜内容＞タオル畳み

＜体験の様子＞

タオル畳みの作業では、山積みになったタオルの中から1枚ずつ取り出し、決められた向きでタオルの端と端を合わせてしわを丁寧に伸ばしました。畳んだものを10枚重ねて、報告する流れで1日に100枚以上のタオルを畳みました。



就業体験を終えて

就業体験では、今後の学校での学習の参考にするため、事業所の方に評価表を記入していただいています。事業所が記入された内容の一部を紹介します。

評価できる点

- ・場面に応じた挨拶ができました。質問や報告も自分から伝えてくれました。
- ・自主的に準備に取り掛かり、時間どおりに作業を始められました。
- ・作業時はとても集中して最後まで取り組んでいました。

今後の課題

- ・困ったり、迷ったりしたときに報告ができるとういことです。
- ・社会性（作業中の態度、場にあった言葉遣い等）を身に付けることが大切です。

就業体験を通して卒業後の姿を知り、学校と家庭で連携して力を付けていきたいと思えます。

